

小学校御中

2006年度 社団法人日本青年会議所
倫理・道徳教育推進運動 ～伝えよう 日本の魂(こころ)～

授 業 報 告 書



平成18年11月

社団法人 燕三条青年会議所

次世代育成委員会



Junior Chamber International **Tsubamesanjo**
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs



ご挨拶……………2

ご報告……………3

プログラム概要……………4

教材……………10

授業概要……………15

実施校概要……………16

DVD感想……………19

たからもの例……………20

プレゼンテーション……………21

奥付……………25

ご挨拶

社団法人 燕三条青年会議所
理事長 丸山光博

拝啓 秋冷の候、貴校におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃、青年会義所の活動にご理解ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、「伝えよう 日本の魂（こころ）」プログラム実施に対しまして、深くご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

昨年（2005年）の今頃、来年の事業内容を具現化しようと検討していました。今まで子ども達を対象に青年会議所が行なってきた事業は、チラシを配り我々が用意した会場で事業をしていました。結果、参加人数が少なかったりメンバーの子どもが中心だったり、地域が偏ったりと問題点も多くありました。ではどうしたら良いのか。そんな考えの中から今回の事業になりました。今回の事業で子ども達に何か伝わり、心の隅にでも何か置いてこられたのではないかと考えています。これを機に地域の次世代を担う子ども達が、互いに「おもいやりの心」を持ち生活し、立派な大人になって地域を活性化して欲しいと思っています。

青年会議所活動は多岐にわたります。必ずしも毎年継続できるかは約束できませんが、今回お邪魔させていただいた私を含むメンバーは、声がかかればいつでも出かけて行きたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

今回、授業をさせて頂きました内容を報告書にまとめましたので、参考にさせていただければ幸いです。

敬具

ご報告

社団法人燕三条青年会義所
次世代育成委員会委員長
外山敏展

本年度、（社）燕三条青年会義所では（社）日本青年会議所との協働運動「日本の魂」を基に、全国161の青年会義所が行っている運動に参画し子どもたちを対象にした倫理・道徳教育推進を展開して参りました。又、本事業開催にこのプログラムをベースに我々が地域に根ざした異業種青年団体であり、自身の職業を通じて感じた大切なことその先にある「おもいやりの心」を伝えるべく、燕三条地域他7校の小学校にお邪魔して授業をさせて頂くことができました。我々が話す間、子供たちは興味を持ち熱心に耳を傾け、多くの質問をしてくれました。また、後日の感想で将来について何も考えていなかった子が話を聞いたあとに職業について考えるようになったと聞いた時は、この事業をやって本当に良かったと感じました。

9月に行なわれた（社）燕三条青年会義所の例会にて「伝えよう 日本の魂（こころ）」プログラムがどのように実施されその効果や問題点を検証し、次年度以降の取り組みに活かすことを目的に開催いたしました。在籍する130名のメンバーにもこの運動の意義を感じ取ってもらいました。青年会義所が行なう事業は、単年度ごとの事業となりますが今年度ようやく一歩を踏み出すことができたこの運動の歩みを止めることなく、明るい豊かな社会の実現を目指し活動して参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

1、プログラム概要

◆ 運動の目的

日本人は自然や人々と親和性を保ち、礼節が行き渡り、四季の変化を味わう豊かな感性を持つ国民でした。しかしながら現代の日本人は先人が築いてきた伝統的な価値観を忘れ去ってしまっているように感じます。私たち青年会議所はその価値観を「日本の魂（こころ）」ととらえ、「美しき日本」創造のために国の将来を託す子どもたちに道徳的価値観を伝え自立した個人としての健全な自主性を育むことが必要であると考えます。身の周りのすべてのものに感謝し、慈しむ心を大切にしてきた日本の伝統的な価値観を道徳教育の素材として活用し公共心を育み、子どもたちに他国に類を見ない豊かな精神文化を築いてきた日本の素晴らしさを伝えることにより地域や国を愛する心の涵養を目的として運動を展開いたします。

◆ プログラムの概要

- 基本プログラムは2時限単位（45分×2時限・合計90分）です。
- 小学生中学年（3・4年生）高学年（5・6年生）向けの2種類があります。
- 「学の夏休み」の上映（約25分）はプログラムに含まれます。
- ※プログラムの実施は、開催地青年会議所メンバーで行ないます。
- プログラムで使用する教材、ワークシート等の資料は青年会議所が用意します。
- 「学の夏休み」のDVDを上映しますので、機材（テレビ等）をお貸しいただくようにお願いします。

基本プログラムの流れ

プログラム1

ステップ1（観る）※DVDを上映します。アニメ「学の夏休み」を鑑賞します。自分たちと同年代の主人公の心の移り変わりを学びます。

ステップ2（考える）

ワークシートを活用し主人公だけではなく様々な登場人物の気持ちになって「先人への感謝の心」「もたない精神」「思いやりの心」「自然を慈しむ心」等を導きだします。

ステップ3（気づく）

作品に込められた「日本の魂（こころ）」の大切さを導き出します。

◆ アニメ「学の夏休み」とは

本プログラムで活用するアニメ作品は社団法人日本青年会議所が作成し、2005年開催されました万国博覧会愛・地球博「JC スクエア」にて上映されたものをDVD化したものです。

この作品を見ていただいたすべての方々に、古くからの日本人の考え方の一端に触れていただき、昨今私たち日本人が忘れてしまった伝統的な日本のこころを思い出していただければとの思いを込め制作いたしました。

あらすじ

都会育ちの学は、ゲームが好きな10歳の男の子。夏休みのある日、学は母に連れられ山間にある父の実家へと向かう。そこでは、祖母と伯父夫婦、同じ年の従姉妹・清美が待っていた。1人残された学は、早速清美と魚釣りに出かけるが、初めての体験は戸惑うことばかり。ままならない結果に、苛立つ学。村の子どもたちとも噛み合わずおばあちゃんの作る食事もう口に合わない。なれない田舎暮らしに辟易し、感情を爆発させた学をある不思議な出来事が襲う……。

基本プログラムは1時限目に「学の夏休み」を上映とワークシートの活用を通して「自然への感謝の心」「先人への感謝の心」「思いやりの心」「もったいないの精神」といった「日本の魂（こころ）」を伝えます。さらに深い関心を導くために2時限目には身近な各L O Mエリア内の現実にある地域の「たからもの」を活用して「日本の魂（こころ）」の理解を深めます。

プログラム1 (高学年)

● 用意するもの

「学の夏休み」DVD

ワークシート「感想文(高学年)」人数分

● 授業前の準備

DVDが鑑賞可能な環境設定 作品を見やすいように着席させる

● 構成人員

リーダー 1名

補助員 2名

● 導入 (2分) 作品の紹介

●留意点 必ず最後まで鑑賞させます。

● DVD鑑賞 (25分)

●アニメ「学の夏休み」を鑑賞することにより、自分たちと同年代の主人公から共通性を見出し、学の心の

移り変わりに共感することをねらいます。

● 感想文 (15分)

※ワークシート(添付資料「感想文(高学年)」ワークシートを活用します)

ワークシートを活用し主人公だけでなく様々な登場人物の気持ちになって「日本の魂(こころ)」を導き出します。

高学年用の感想文ワークシートは自然や人間の力を超えたものに対する畏敬の念に重点を置いて作成しています。

1. ワークシートイラスト 清美

問いかけ① 先祖崇拝・思いやりの心

「清美はどうしてサンダルを大切にしていたのかな」

予想される反応

- おじいちゃんに買ってもらった大切なものだったから。
- 清美にとっては大切なものだったから
- おじいちゃんが大好きだったから。(尊敬していたから)

対応

最初、学は清美がサンダルを大切にしている事を知らなかった。

清美は祖父への感謝の気持ちが、学ぶの心を動かした。
学はサンダルを探しに行った。(エンディングでは清美にあやまった)

2. ワークシートイラスト 妖怪 (複数)

問いかけ② もったいないの精神・思いやりの心・自然崇拜

「傘やキャベツ、魚、草たちはどうして妖怪になってしまったのかな」

予想される反応

- まだ使える傘を捨ててしまったから。
- 食べ物を粗末にしたから。
- 採った魚を食べなかったから。
- 道具を乱暴にあつかったから。
- 生き物を殺してしまったから。

対応

昔の人は道具を修理して大切につかっていた。

昔の人は草や木(自然のもの)に対しても命をみいだす優しい心をもっていた。

命ある物を食材にするから「いただきます」と手を合わせて食べる。

3. ワークシートイラスト 道祖神

問いかけ③ 思いやりの心・自然崇拜

「妖怪はどうして学を許してくれたのかな」

予想される反応

- 怖い目にあつたから。
- 命の大切さがわかつたから。
- キャベツの子供を助けたから。
- いっこう(おじいちゃんが)助けてくれたから。

対応

学は妖怪にこらしめられるまで、命の重さを感じていなかった。

いろんなものに「命」があることに気がついた。

いつも(自分を)見守ってくれている存在(先祖)がいる

4. ワークシートイラスト おばあちゃん

問いかけ④ 思いやりの心・自然崇拜

「おばあちゃんはどんな事を教えてくれましたか」

予想される反応

- すべてのものが神様である。
- すべてのものに感謝する気持ち。
- 食べない魚を採ってはいけない。
- 人を信じる心。
- 自然の美しさ

対応

昔の人は沈んでいく太陽(夕日)にまでも感謝する心をもっていた。

日本には八百万(やおよろず)の神様がいると信じられていた。

何にでも神様が宿っていると思う心が、感謝する心になる。

嘘をついた学を信頼する大らかな心

5. ワークシートイラスト 学 (笑顔)

問いかけ⑤「日本の魂(こころ)」

「学はどんな男の子に変わりましたか」

予想される反応

- 遊びで生き物を殺したりしない。
- 命の大切さがわかった。
- 素直に「ありがとう」といえる子ども
- おじいちゃん(いっこう)、おばあちゃんを敬う子ども

対応

「日本の魂(こころ)」とは

私たちは一人で生きているわけではない、いろいろなものに生かされている。

感謝の気持ちをもって生きることの大切さ。

自然に対する感謝の気持ち。

お年寄りや先祖を敬い、大切にすること。

すべてのものに感謝する心を持てば、争いがなくなり平和な世の中になる。

● まとめ (3分)

作品を振り返り、身近なエピソードを披露しまとめる。エピソードについては「自然への感謝の心」「先人への感謝の心」「思いやりの心」「もったいないの精神」の中から関連したものを考案する。

(まとめ)エピソード例

日本人は縄文時代には農耕(稲作、畑作)をしていなかったといわれています。しかし同じ時代世界の他の国ではすでに農耕による文明が定着しつつありました。それは決して世界に遅れをとっていたのではなく、縄文時代の日本は豊かな自然の恵みに溢れ、田んぼを作ったり、畑を耕さなくても十分に生活していくことが出来たのです。人々は自然から得られる恩恵に感謝して生活をしていました。

私たち日本人は昔から自然を大切にしてきました。そして身の回りのあらゆるものに生命を見出し、慈しみ大切にする心を持っていたのです。これが「日本の魂（こころ）」なのです。みなさんは世界に誇る素晴らしい「魂（こころ）」を持った国で生活をしています。現在はものが溢れている時代ですが、学のおばあちゃんのようにあらゆるものに生命が宿っていると考えるとやさしい気持ちになりませんか。

プログラム2 (高学年)

● 用意するもの

地域の「たからもの」をわかりやすく伝えることができる資料(パネル・リーフレット)等
ワークシート「たからものをさがしてみよう」「みんなのたからもの認定証」人数分

● 授業前の準備

あらかじめ6人一組になるように机と椅子をグループ分けしておく。

● 構成人員

リーダー 1名
補助員 2名

● 導入(2分)

「みなさんはシアトルマリナーズのイチロー選手を知っていますか。イチロー選手の高校時代の野球部の監督がアメリカで活躍するイチロー選手についてこんなことを書いています。

以下引用

シーズン中にイチローがシアトルの小学校を訪問したというニュースが流れ私は彼が何を言うのかと興味津々でテレビを見ていた。するとイチローは子どもたちを前にしてこんなことを口に出しました「みんな道具を大切にしてください。

お父さんお母さんを買ってもらったバットやグローブを大切に扱い、手入れをすること好プレーが生まれるんです」(中略)高校時代のイチローは夜遅くまで続くハードな練習を終えるとロッカー室の作業台置き場でスパイクの土をきれいに落とし、バット、グラブと丹念に手入れをしてから部室に戻って行った。

こうした習慣は私が部員たちに要求したものであったが、イチローが苦しんでいるようには映らなかった。彼は野球部に入ってきたとき、私の指示を受ける前からグラブを大切に扱っていたからだ。そのグラブはいうまでもなく、父親から買い与えられたものである。」

引用著書「イチローに教えたこと 教えられたこと」中村 豪(にちぶん文庫)

● 「たからもの」をさがしてみよう (10分)

※ワークシート(添付資料「たからものをさがしてみよう(高学年)」参照)を活用し、家庭や学校、地域の中で「たからもの」を見つけ出します。

● 留意点 「たからもの」は有形無形のものを含めません。児童が思いつく「たからの」をできるだけたくさん書き出させます。(目標は3個以上)リーダー、補助者は教室をグループを分担し子どもたちが書きやすいようにアドバイスをを行う。

例 校庭の桜の木、芝生、校歌、担任の先生、飼育している動物、本、机、サッカーボール…たくさんの「たからもの」を考えさせます。

※ 開始前に必ず自分のたからものを披露し、なぜそのものが「※ たからもの」※ なのかを発表してください。

(例 お父さんが社会人になるときに買ってくれた大切な時計、小学校のときお母さんが毛糸で編んでくれた手袋、子どもの写真、結婚指輪等お金の価値ではなく自分だけの物語のあるもの)

● 地域の「たからもの」(15分)

※ LOM メンバーによるプレゼンテーション

※ 資料は各 LOM で作成(準備)していただきます。

地域で大切に守られてきた伝統文化、伝統工芸、習俗、食べ物、植物、偉人、歴史的建造物等を「地域のたからもの」と定義づけ、なぜそれらのもの(人)が「地域のたからもの」に成りえたのか、どうして今も大切にされているのかを子どもたちにわかりやすく伝えます。(時間内であれば複数の紹介をすることも可能です)

●留意点 地域の「たからもの」の説明については下記4点について必ず触れてください。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 自然との関わり、自然への畏敬の念 | (自然への感謝の心) |
| 2. 地域固有の歴史的背景、地域の歴史との関係 | (先人への感謝の心) |
| 3. 他者への関わり、利他の精神性 | (思いやりの精神) |
| 4. ものや文化を大切に作る心、愛情 | (もったいないの精神) |

また特産品や工芸品で実際に教室に持ってくるのが可能なものは子どもたちに手にとって鑑賞させる。

(出来るだけ本物を見せる) 例: 参考資料「授業展開例」参照

●まとめ

紹介したもの(人)が地域の「たからもの」であり、現在の豊かさにつながっていることを強調する。先人への感謝の気持ちを表現する。

● ワークショップ(10分)

※ワークシート(添付資料「みんなのたからもの認定証(高学年)」)を活用し、地域の中で「たからもの」を見つけ出します。

なぜ「たからもの」なのか、そして自分達はそれ関われるか所まで考えさせて下さい。

● 発表(5分)

グループごとに発表させ、自分たちの周りには「たからもの」がたくさんあり、「たからもの」に囲まれた素晴らしい学校や地域の中で生活をしていることを導き出します。また発表した「たからもの」についてリーダーは「どうして」と理由を尋ねます。「ずっと大切にしてくださいね」「この学校にはそんな素敵なものがあるんですね」と必ずコメントを入れてください。(発表ごとに拍手)

● まとめ(3分)

授業を振り返りたくさんの「たからもの」を見つけて大切にしていく心の素晴らしさ、またその「たからもの」があるおかげで豊かに暮らすことができる感謝の気持ちをもつことを導き出します。

まとめ例

今日はみんなに「たからもの」を書いてもらいました。どんなものであれ、みんなが大切にしているものには「理由」があることがわかりました。

そして「たからもの」はみんなそれぞれ違うということもわかりました。自分にとっては大切でないものが、違う人にとってはとても大切な「たからもの」になることもあります。これからもひとつだけではなく、みんなの周りにたくさんの「たからもの」を見つけて大切にしてください。「たからもの」がたくさんある学校は素敵ですね。

「たからもの」がたくさんあるまちも素敵ですね。「たからもの」がたくさんある国、地球になればきっとみんなが平和に幸せに暮らすことができる世の中になると思います。

最後にひとつお話をします。

教材

DVD：アニメ「学の夏休み」

JCI
佐々木洋子監修「日本の魂」南総特別委員会

劇場空間アニメーション

「学の夏休み」

～伝えよう日本のこころ～

～あひすび～

都
都会育ちの学は、ゲームが好きな10歳の男の子、夏休みのある日、学は谷に建つ山荘にある谷の裏家へと向かう。そこでは、祖伝と叔父丸蔵、同じ年の夜見糸・清美が待っていた。

さつそく清美と丸蔵りに出かけるが、初めての体験はままならず、とまどい、いらだつ学、村の子とたちともかみ合わず、まぼあちゃんの作る食事モロに合わない、なれないお食事がいやになつて、感情を爆発させた学をある不思議な出来事が襲う…

～制作にあたって～

古くから私たち日本人は、四季折々の美しい自然の中で日々接している山や川や田畑など、あるいは台所道具から身につけている衣服に至る日常品まで、あらゆるものに感謝の気持ちを持ち、調和しながら和を重んじてきました。そして、全てのものを畏怖し神聖が宿ると考えてきたのです。もし、そんな気持ちを世界中の人たちが持ったとしたらどうでしょう。この地球上からは無用な争いが無くなり、地球の自然は守られ、全てのいのちが共存していけるのではないのでしょうか。

また、日本人は異なる文化や考え方を上手に理解し受け入れ、独自の文化を作り上げてきました。もし、そんな認め合う気持ちを世界中の人たちが持ったとしたらどうでしょう。国同士の考えの違いから起きる戦争もなくなり、世界中が平和になるのではないのでしょうか。

この短編アニメ『学の夏休み』～伝えよう日本のこころ～は、作品を見ていただくすべての方々に、古くからの日本人の考え方の一端に触れていただき、昨今私たち日本人が忘れてしまった日本のこころを思い出していただけばどの思いを込めた製作、でした。

ワークシート（以下のページに使用したフォームを添付致しました。）

- 1、感想文記入シート
- 2、たからもの記入シート
- 3、たからもの認定証（2種） *今回は使用致しませんでした。

* ワークシートはDVD鑑賞後に記入致します。

感想文

みんなで考えてみよう!



清美

清美はどうしてサンダルを大切にしていたのでしょうか



傘・魚・キャベツ

傘やキャベツ、魚たちは学は何を伝えたかったのかな



道祖神

道祖神はどうして学を許してくれたのかな



おばあちゃん

おばあちゃんはどんなことを教えてくれましたか



学

学はどんな男の子になりましたか

小学校

年

名前

たからものをさがしてみよう

自分が大切にしているもの、大切にしようと思うものをたくさん書いてみよう。それが「たからもの」だよ。

みんなが、「たからもの」だと思ったものをたくさん書いてね。



みんなのまわりには「たからもの」がいっぱいだキャベ

- どうして「たからもの」だと思ったのか考えてみよう。
- 他の人はどんなものを「たからもの」だと思ったのか聞いてみよう。
- もっとたくさんの「たからもの」を見つけよう!



小学校 _____ 年 _____ 名前 _____



わたしのたからもの認定証



は

をわたしの大切な「たからもの」

として認定します。

たからものの
名前

たからものが
ある場所

たからものに
なった理由

小学校 _____ 年 _____ 名前 _____

みんなのたからもの認定証



は

をわたしの大切な「たからもの」

として認定します。

Large empty rounded rectangular box for writing.

たからものの
名前

たからものが
ある場所

たからものに
なった理由

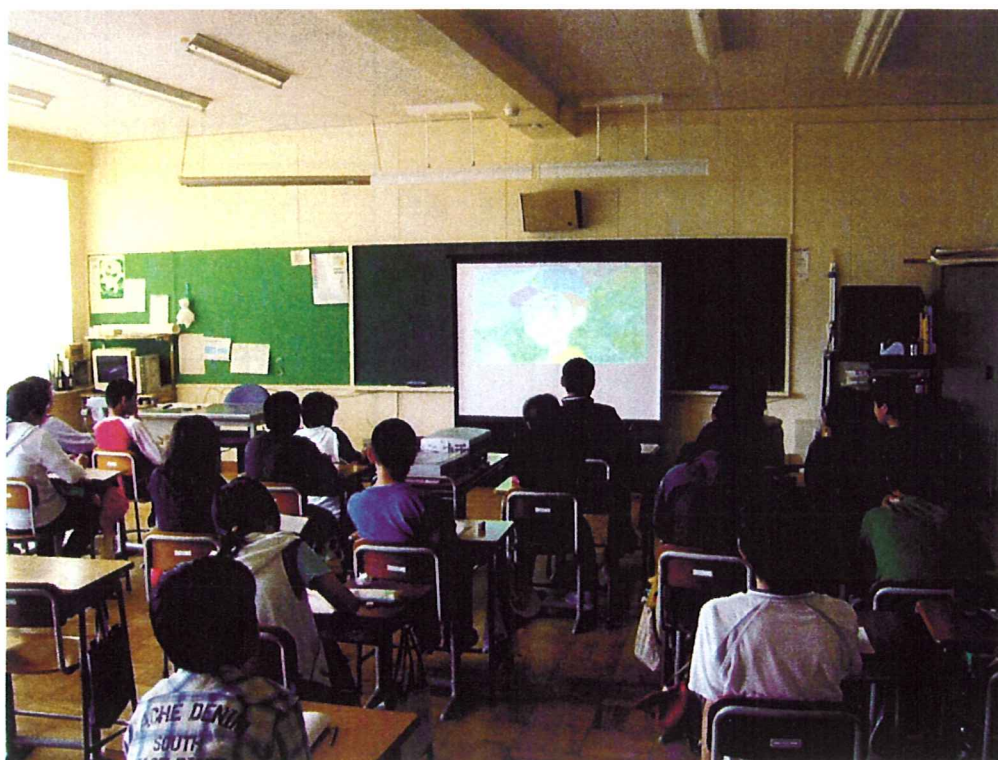
しょうがっこう
小学校

ねん
年

なまえ
名前

授業概要

以下のページでは実際の授業の様子を流れに沿ってご紹介致します。



DVD を見ている様子

実施校概要-1 <学校別授業データ>

基本データ			授業時限			
学校名	学年	人数	進行役	1 時間目	2 時間目	3 時間目
長岡市立 十日町小学校	6 年生	1 8 名	会議所 メンバー	DVD 学の夏休み 上映、感想	たからもの プレゼンテーション	
三条市立 月岡小学校	3 年生	6 8 名	担任教師		たからもの プレゼンテーション	
三条市立 長沢小学校	5 年生	3 1 名	担任教師		たからもの プレゼンテーション	
新潟市立 庄瀬小学校	6 年生	2 5 名	担任教師		たからもの プレゼンテーション	
田上町立 羽生田小学校	6 年生	8 6 名	担任教師		たからもの プレゼンテーション	
見附市立 新潟小学校	5 年生	1 7 名	担任教師		たからもの プレゼンテーション	
長岡市立 寺泊小学校	6 年生	2 8 名	会議所 メンバー		たからもの	プレゼン
合計		273名				

実施校概要-2 <授業内容>

基本データ	授業内容	
学校名	プレゼンテーション内容	特 徴
長岡市立 十日町小学校	●ブライダル（田辺／饒心亭おゝ乃）	校歌斉唱で歓迎レセプションがあった。 すべてプログラムどおりに授業を実施。
三条市立 月岡小学校	●ブライダル（田辺／饒心亭おゝ乃） ●小林筆頭副理事長 長岡JC理事長見学	中学年を対象にした唯一の授業、ほぼプログラムどおりに進行。 子供達の集中を途切れさせない工夫が足りなかった。
三条市立 長沢小学校	●溶接業（稲庭／稲庭溶接所） ●飲食業（村松／とんかつ三条） ●建設業（谷川／金子建設） ●石材業（松井／松井石材）	たからものさがしは先生が後日実施。2時間を全てプレゼン時間に変更。 多くのプレゼンテーション（職業）の要望。 職業に対する子供達の知識や関心も高かった。
新潟市立 庄瀬小学校	●溶接業（稲庭／稲庭溶接所） 参加メンバーの自己紹介、職業紹介 +Q&A	プログラム終了後、残り時間を青年会議所メンバーへの自由な質問タイムを設けた。 非常に活発な質問がされ、時間が足りないほどだった。
田上町立 羽生田小学校	●宮司／舞（三上／神明宮） ●日本料理（樋口／ちゃんこ越葉） ●丸山理事長 加茂JC涌井理事長、日本JC森副委員長 見学	3クラス合同授業。進行は先生が行ったが、事前打ち合わせで主旨を汲んでいただき、ほぼプログラム通りに行うことができた。 子供達とのふれあいの場として一つのプレゼンをする毎に質問タイムを設けた。
見附市立 新潟小学校	●卸／販売（志田／（株）志田洋行） ●飲食業（村松／とんかつ三条） ●米穀（外山委員長／外山敏雄商店） 見附JC下村理事長、 同／山田専務理事見学	最少人数での授業。最後に参加者が、自己紹介を兼ね各自の思いやりを発表。見附JCからオブザーバー参加。 燕三条の地場産業とのつながりが薄く、子供達に伝えにくかった。
長岡市立 寺泊小学校	●卸／販売（志田／（株）志田洋行） ●丸山理事長 ●米穀（外山委員長／外山敏雄商店） ●印刷業（星野／富士印刷（株））	プログラムを3時限分に拡大。道徳の時間を使って実施。 地域のたからもの探しにも時間をかけられたため、子供達の地域への関心の高さを知ることができた。 燕三条の地場産業とのつながりが薄く、子供達に伝えにくかった。

DVD感想 回答例

アニメ「学の夏休み」を見てシートに記入してもらった回答の例です。

設問	3年生	5年生	6年生
1、清美はどうしてサンダルを大切にしていたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> *おじいちゃんから買ってもらった。 *サンダルをなくして悲しそうだった。 	<ul style="list-style-type: none"> *なくなったおじいちゃんから買ってもらったたいせつなサンダルだから。 *形見だから。 	<ul style="list-style-type: none"> *亡くなったおじいちゃんがくれた、買ってもらった宝物だから。
2、傘やキャベツ、魚達は学ぶに何を伝えたかったのでしょうか。 (3年生：ようかいはどうしておこったのかな。)	<ul style="list-style-type: none"> *魚を殺した。 *キャベツをゴルフみたいにした。 *怒ってくやしそうだった。 *大事なものを捨てたから。 	<ul style="list-style-type: none"> *物の大切さ *命の大事さ 	<ul style="list-style-type: none"> *命の大切さを教えた。 *物は生きている。 *意味もなく生き物を殺してはいけない。 *八百万の神様
3、妖怪はどうして学を許してくれたのか。	設問なし	<ul style="list-style-type: none"> *命の大切さを分かったから。 *反省したから。 *川に落ちたキャベツの子を助けたから。 	<ul style="list-style-type: none"> *川に落ちたキャベツの子を助けたから。 *命の大切さに気付いたから。
4、おばあちゃんはどんなことを教えてくれましたか。	<ul style="list-style-type: none"> *全てのことが神様 *かみさまのこと *やさしいおばあちゃんだった。 *いのちの大切さ。 *心配してくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> *すべての物に神様が宿っていること。 *命の大切さ。 *生き物を大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> *全ての物に神様がいると思えば物を大切にできる。
5、学はどんな男の子に変わりましたか。	<ul style="list-style-type: none"> *命の大切さをわかった。 *やさしい男の子になった。 *感謝の気持ちがわかった。 *人の気持ちがわかるやさしい子。 *ものを大事にするいい子になった。 	<ul style="list-style-type: none"> *命を大事にする。 *神様がいる。 *もうものをムダにしない。 	<ul style="list-style-type: none"> *命の大切さに気づき、物を大切にする少年になった。 *神様を信じる男の子 *遊びで生き物を殺さない子
子供達の様子	<ul style="list-style-type: none"> *DVDに対しては熱心にみていた。 妖怪の登場シーン等は「畏ろしい」という感覚があるようだった。聞き慣れない言葉もあり、正しく理解するのは難しいかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> *高学年は、ほぼ同等の理解力を示していたようだ。ストーリー自体は単純なので6年生には飽きられるかなと思ったが、案外真剣に見ていて、共感したり学んでくれたりしていた。 	

たからもの例

子供達からあげてもらった「たからもの」例です。

「たからもの」をあげて、というと、最初は大切にしているものと必要なものとの区別がつきにくいようでした。文具から友情までランダムに出てきます。しかし、しばらく考えていくうちに、子供達はだんだんと、友情や家族といった本当に大切なものに気がついてくるようでした。

3年生

食べ物、飲み物、水 命、空気 家族、友だち ゲーム、おもちゃ、自転車 学校、教室、教材、先生 木、動物、自然 ころ、からだ、脳 洋服、テレビ	ないと困る。 個人のたからもの クラスのたからもの
---	---

5年生

修学旅行の写真 親愛なる友だち 友情 学校行事 テレビ 給食、休み時間 教室 スポーツ 水、地球、 命 メガネ	クラスが明るくなるから。 ロッカー、机・椅子、黒板、ランドセル、赤白帽 サッカー、野球、柔道
---	--

6年生

友達 家族 ペット 写真 習い事の道具 趣味の道具、本 ゲーム、おもちゃ お金 家 命	いないとさびしい。いるとうれしい。 自分を支えてくれる、はげみになる。 いなくなったら困る。 過去の思い出がよみがえるから。 一生に一度の思い出だから。 嫌な事を忘れる。高価だから。楽しいから。 好きだから。 気に入っているから。 ないとおもしろくない。 必要だから。 ないと野宿。 一つしかない。生きていけない。
--	--



グループ毎に「たからもの」を提案（上）。または発表している様子（下）

「思いやり」プレゼンテーション

各校で実際に行った主なプレゼンテーションの内容とその時の子供達の様子です。

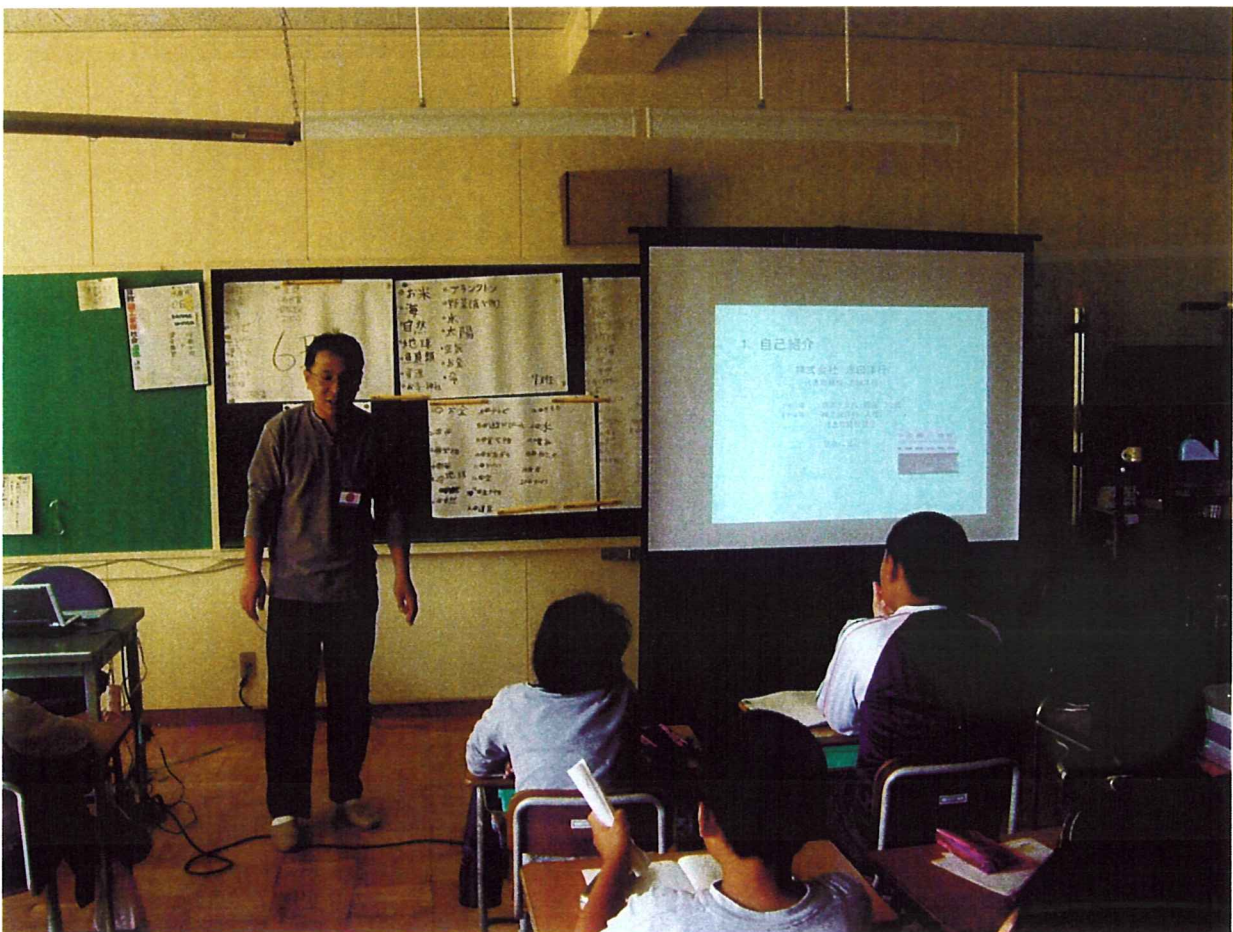
1	
概要	溶接がどんな技術で、どれくらい生活に欠かせない技術なのかを説明。続けて溶接の欠点や問題点を補足する。 まとめとして、仕事に向かう姿勢や心構えとして、私の製品を使ってくれる人の気持ちを考える事が重要だと締めくくる。
子供の反応	普段は特定の先生しか立たない教壇に、私の色あせた作業着姿が児童たちの目に興味深く映ったようです。 何を話すのだろうと言う期待感の様な注目を感じました。 話した事の全てを理解してもらえたとは思いませんが、子供達は真剣にそして好奇心に満ちたキラキラとした視線を私に投げかけてくれました。



2	「舞」を例にとったプレゼンテーション
概要	<p>三条市に伝承されている、新潟県指定無形文化財「三条神楽」についてはなし。楽譜も無い、教科書も無い三条神楽が何百年ものあいだ、かたちをかえずに残ってきたのは、自分が教えてもらったものを、次の世代につなげなければならないという使命感と、100年後もものを残していこうという、つよい想いがあったからであるということ、実演を交えて説明した。</p>
子供の反応	<p>実演中も話をしているときも、集中して聴いていたと思う。 笛など、実際に使う本物を体験してもらったとき、子供達は緊張感と共に強い興味を持っていた。 数百年も伝え続ける大変さと大切さは感じ取ったのではないかな。</p>



3 卸業を例にとったプレゼンテーション	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売業（問屋）とはどういうものかを説明 ・取り扱い商品の一部を紹介 ・仕事の中での「喜び」や「苦勞」を話す。 ・会社経営や商売をする上での「思いやりの気持ち」について話す
子供の 反応	<p>・卸売業（問屋業）の話をしている時は、あまり興味や反応を示さなかった子供たちも、実際に商品を目にしたり、触ったりするととても興味を持ってくれたようです。特にとうもろこしを使った新たな素材で作った箸にはとても興味を持ったようです。</p> <p>私の話を全て理解してもらえたかはわかりませんがとても真剣に聞いて頂いて嬉しかったです。</p>



4	ブライダルを例にとったプレゼンテーション
<p>概要</p>	<p>*ブライダルには「思いやりの心」がたくさんあるということを、結婚するとはどういうことなのか、なぜ挙式披露宴をするのか、そこにどんな「思いやりのところ」があるかをお話することによって子供たちに考えてもらいました。</p>
<p>子供の反応</p>	<p>*ブライダルというものは、普通に話しても子供たちにはピンとこないと思い、ウエディングドレスを持参しましたがとても興味を示してくれました。6年生と3年生対象に授業をしましたが、やはり3年生にはわかりにくかったのか、あまり反応がなかったため、逆に演出機材とか使うともっと興味を持ってくれるかなと感じました。</p>





次世代育成委員会
(2006年度)

委員長 外山 敏展

副委員長 星野 里美

無任所理事 谷川 和夫

田辺 雅史

稲庭 雄蔵

斉藤 直人

志田 洋行

清水 朋宏

富澤 誠

樋口 徹

松井 建

三上 正行

社団法人 燕三条青年会議所

事務局：〒955-0092 新潟県三条市須頃1-20 三条商工会議所内

TEL 0256-32-5151 FAX 0256-32-5343

E-Mail jimukyoku@tsubamesanjo-jc.or.jp